

きずな2006 自治会掃除、 (左:綾野ホーム 右:別庄ホーム ドライブあいかわ公園

3 3 号 1

新型コロナクラスター発生

中旬にかけて、入所施設と、グループホームでクラスターが発生してしま たが、クラスターには至っていませんでした。 感染対策をしっかりと実施 残された限られた職員で、現場を守らなければならない状況が続きま-め、感染拡大をくいとめることは、大変困難でした。職員も次々と感染し、 てきた結果だと自負しておりました。 重い障がいの利用者が多く、ほとんどがマスクはできない方であるた あゆみの家では、今年の二月に入所施設で、数名の感染者が発生し 新型コロナの感染が始まって、三年近い年月が経ちました かしながら、 八月下旬から九月

た。

感染した

職員が

療養期間を

終え戻ってくる

につれ、

落ち着きを

取り戻

約四週間で収束にいたりました。

り、日中事業所については、送迎の休止や感染者が発生すると休所という とは、とても感謝でありました。 を補いました。このような危機の中、 員たちが一致団結して、この難局に立ち向かい頑張っている姿を見ること かできました。法人内の他事業所からも、勤務応援に入り、職員の不足分 ことで、利用者がサービスを受けられなくて、困っておられる状況も発生 に反映させ、次なる感染拡大に備えなければなりません。 ん。対策が十分でなかった点もありました。今回の反省点を、 に残暑が厳しい中、防護服で利用者支援にあたる大変つらい状況の中、 また、この新型コロナの感染対策という名目で、外出や外泊を制限した とはいえ、感染を拡大させてしまったことは反省しなければなりませ このコロナクラスターの経験を通し、職員たちの底力を感じました。 法人内で協力し合う体制が作れたこ マニュアル

心 を あ た た め て もらう ケ IJ ス 7 ス

理 後 藤 直 紀



年も きら IJ 理とクリスマスケー ごしましょうね。 スマスプレゼント クリスマスソング、 び み 何 IJ . か 心 ス んなで楽し やかなイルミネ マ がワクワクし ス が 近づくと、 い + クリスマスを がもらえる。 ĺ ショ そし てきま お いし わ た す。 い L 今 ク 料楽 た

ヤ

なく 明 ツ る るく 出るほど お祭りであることは有名です。 人々に ともとクリスマスが、 ム 、照ら の しな 家畜 もたらした・・・ の 神 がら 様の愛をたくさんに受けて、 小 屋 でお生まれになったイエス・ 1 まるで太陽のように エス・キリスト 約二〇〇〇年 ر ص その愛を分け 前 誕 すべての キリスト。 生をお祝 ユダヤの 隔 人 しノ 溢 ベ て す

優 1 立 エス う人だっ 愛を行 した人がこういうふうに なく愛を注いだ、そうやって行動をして、 ク リスマスに 苦しんでいる人や悩 が そうしたように、 して、 動しよう」・・・。 つらい思い つい できるだけ て、 福井 をしている人たちと共に んでいる人たち、 わたしたちもクリスマスは、 言っています。 緒にいようとした、 達 雨さんという社 愛を示され 「イエス そういう人たちに 会福: 1 ハが世に ・エスは 祉 て、 施 たんだ。 やさし 設 そう 生 を ま

> その ま うと福井さんは言 うす。 ように 今まで自分 自分を クリスマスには人にやさしくする・・・。 自分中心 深く のことばかり考えて自分が得をしようとする、 反 って 省 に 生きてきたけ います。 やさし あ い れど、 あ、 心を取り 確 クリスマスの かにそうだ 戻して、 なあと思 謙 虚に ときには

になろ

そ

ンドル この あたたかさを取り戻 ンドル いやさしくしていけらたらいいですね。 火からあたたかさをもらって、 たしたちに示してくれます。 で 寒 ŧ の しノ 火は、 時期、 その の 光を、 ためには心が イエスキリストの心 クリスマスを迎えるというの わたしたちは見つめます。 次すため かも知れません。 あたたかくないといけ わたしたちが、 心もあたためてもらって、 のやさしさ、 クリ クリスマスの は、 こ の あたたかさを スマスに 寒い な キャ しょ 中 で ンド す + は 心 ね + ル ヤ \mathcal{O}

世に 光は暗闇の中で輝いている・・・その光は、 来てすべての人を照らすのである まことの光で、

に \mathcal{O} わ

新約聖書 ヨハネによる福音書ー 章五節: 九節

後 藤 直 紀 先生の 紹

では は 草ル ・ 年四月 か テ b 大 教 垣 会牧 ル 師 テ 就ル 任 教

さ されたれ ました。 月よりあ ゆ 4 0) 家 理 事 に 就 任



襾

が

()

い暮

合さ

はれ

病お

1)

近

る

تبلح

手 に

が れ

つ

か 戚 す

5 な

な

揚 お

合 5

段頼

くこ

が

親ま族

がか員

がれー緒

活よ

か

て

き

كے

う

な ス

仕 Δ

組 1

を

し援

あな人にホま

発

な 利

外等

をさ

受れ

う

あ

す を

家 か

族 0 す

居

さ 7

T て

6)

る

ご て

方と

は同

き家れい

やい

支た

り対

あ

つ 9

実

施

し

も

り感

グ染

し

し

ル

1 て

プ

い支で非情成記ス非

報

も新た

みズ録な

に 者

い考対の

ま

服

تلے

登 薬

常

て

ら熱ム事感た

ど用ま策

人 ら 0 方 0 生 支

者 就 病 生活支援セ 気 0 時 0 対 応 5

活支援 力 杉 \blacksquare 佳

で \subset 解困 度 決り 働 西 ご □ 家 を い濃 就 庭 と業 訪 7 を先 いが 問 い間 \mathcal{O} る しし な き き 登者 企 通 ま 取業 録 就 院 す っな \mathcal{O} そ を 方 をの職訪 を活 す 他場 問 支 支 る に し援援 ゃ \subset 関 ablaも セ ط 生 て 係 も活 機仕い夕 あ支 関 事 ط り援 やす ま 連 ワ 牛 は す 携 活 月 1 力 しのに な悩 1 とがみ度企 らや程業

いっよ共し者まにを て う 交いはす つ取 \Box 。いり が染だ 状ご 対な通 < 策感 機 況遠介て戻 ナ 必 て 関 て 慮護 は 禍 染 し き < 施 つ 症 \mathcal{O} す も が る対 だ設 そつ 利 \equiv ょ 策 用 まさなれあ年 いど う た ぞり目 を を まに 制 \mathcal{O} れまと し 登 限製と \mathcal{O} すな行 て 福 9 録いし 造 い 祉 会 者 る て 業 う施 社 ののいなこ設に口世 تلے لے よナ 間 方か る て 会 でもは っウ て し就社も多今 てイ は つ 業 も 従 て 対 ル 徐 も か先あ 策 ス々 業 っ方感に り員職 りの とル まの場 外 法 染 以 理 す 外訪部 が症前 1 異の 解ル 出問の \mathcal{O} しにどやも訪な 生 対 て従の公難問 り策活

し

人

で

5

て

る

録

にに

院セ者

ヘンの

同夕方

す内コ

るでロ

の話ナ

かしウ

? 合 イ

自いル

病

行 1 が

ま症しら働をな合を多えは宅を ス تلے 療しに先ま う 養ま感日 すとし染 るなた U \mathcal{O} つ \subset かた誰 ? 場が 発いな合 を のど 食 のっ よかい うけ

や受 くな 診 あ け い 陽 りれ し ろ性 \mathcal{T} まば しいのも な し 陰た 合ろ時 5 の性 いな な /١ 療だ 厚 夕 つ熱 養 \subset 方た外と 労ン法場来が考事

対のし省 考 時たた応方合 え の マのわ定 ablaコせ 話 \Diamond ュロな る ナ ア が マ ウ 5 ル 1 ュ ア をル 作ス 人ル生し 成感暮と し染ら照

常ま し入ト ア し 更した ツ フ 病 ア 気 やナ イ ル か災ウ を 害 か 1 個 1) ル 別 つ ス え応方常に けの感 医た染 やめ症 服にば か 薬 状 - n 人 \overline{C} 況 暮な 関 5 係し 機の日 関方頃 等をか をリ 5

がのに作 #E 193 25.450 200 (ご始集者) 秦田さん (電信書号) (684-84-8 . RBR:

支援員と核院へ行く場合・ かかりつけ返に電話して ・玄関のカギを開けて持つ さ

は

教

室

に

通

つ

て

61

る

方

に

楽

U

61

で

ょ

?

لے

人 生 を 応 援 し た い

ず な 2 0 0 6 生 活 支 援 員 \blacksquare 代 美

佳

5 ねかさ始 て れ h め は ま 年 61 見 < 将 五 学 う 来 は た ち \mathcal{O} じ 体 事 に め新 利 験 ゃ は 用 現 頑 全 しし そ < な 在 Y だ 乗 間 \mathcal{O} <健 り 関 つ h 入 た 康 気 係 は 会 Υ 状 て を لح 般 さ 熊 は 築 な h あ <0) り \mathcal{O} つ 9 ス \subset ま 気 11 ま ポ に 持 て せ ١ た ち 話 h 少 ツ に 教 て U 合 変 臆 宰 化 いた に 病 が を な 通 見重 Υ 61

なた -5 しし \subset しし تلے か ス 環 \subset \mathcal{O} لح う を 境 事 ط 感 を は ゃ 不 ょ じ ス 始 Y う る ケ 安 め さ \subset を ジ る h لح 抱 ュ に に \neg え 人 に は ۲ 1 に 7 な つ ル 大 お 何 る に 変 て 慣 5 か て な 大 き 嫌 れ U n 勇 気 な ま な ょ る チ う 間 ط \subset ط $\stackrel{\circ}{\neg}$ た に 体 ヤ う を は 力 が ン 言 ま 様 ジ < 必 わ 々 な 要 て れい て る か 葛 U んな 藤 す じか ゃ ゃ つ ス新新

5 いん 7 す を やた き 見 地 80 な 本い 希 た 域 に て 人 高 方 資 \mathcal{O} 齢 61 で に S < 源 カ を 佪 に す 持 な لے ф を が 対 \mathcal{O} り تلے 発 つ 0 C 活 う て て 身 に 用 揮 支 も 体 合 を さ 61 利 機 援 る つ 用 れ う تلے 能 た 者 \mathcal{O} か が 支 進 て Q \subset を て 低 援 80 11 0 聴 誰 方 S < 下 て き لے の 法 \mathcal{O} しし 牛 を 1) < か 向 不 活 上 ま 模 \mathcal{O} \mathcal{O} 安 をた 索 意 か 経 ま を 認 思 験 た し た て を を は 安 知 ホ い 機 1[]/ 61 確 重 現 能 < \mathcal{O} ね 垘 Δ 変 か が 毎 る 維 U \mathcal{O} え な生 機 衰 \Box 持 تلے え でが活会の

> 6) も 利 き 孪 宅 ょ を しし \mathcal{O} る 着 う を 笑 用 立 化 運 待 木 て 機 会 に 顔 ょ T た が 動 ١ い か لح て を う せ 見 を で さ る け Δ な フ に 思 を 会 て る 5 続 n つ 5 6) \subset オ لح 話 つ は \mathcal{O} れ け う て て n | は ょ き を 毎 私 た 5 五 を も は ス う 顺 \Box \subset れ か 実 ま 1 夕 ط 相 援 \mathcal{O} Υ に 月 感 ジ 標 談 生 さ が 身 通 さ た ス オ を て 活 h う 体 え 体 れね -叶 C れだ 繰 下 に を な 調 て ラ 写 え 9 さ 直 心 け لے ク しし 不 い 真 た 返 つ 接 援 て 夕 61 時 良 る 励 61 を か て な も ゃ ょ ま 1 撮 希 か て لح あ う さ 61 0) る 望 で に 1) を そ ま わ しし n 先 \mathcal{O} す る ま 気 ま ナ 見 牛 で た。 世 す 持 す 感 人 • え地 す 5 そ ち が 利 話 染 ま域 用 人 れ Υ ゃ 対 すの 身 U \neg < 者 さ が 好 さ 生 週 策 ф 体 生 ط ん活 に h 達 き C が Υ て が さ き な を に \equiv 動 しし 戍 \mathcal{O} 暮 で服 奮 も 自 <

写 真 を 61 つ 灬 援 か 紹 た 介 で しし き !! た 5 61 61 な 標 ط 思 達 つ 成 て さ 61 1 ま た す 7 h

 \mathcal{O}





~ ホ – ム の 休 日 ~

みを は活 O 者紹

そ 種 の 委 あ 活 員 ゆ 動 会 状 を O開 況 家 を 催 で 紹 L さ 介 利 L ま 用 ま ざ ま す な 課 \mathcal{O} サ 題 に 取 ピ ス U) 向 組 上 ん Oで た い め ま す 。各

安 全 対 策 委 員 会

全 運 酝 管 理 者 井

安

事 記 で 大いい す 般 事 \mathcal{O} 呼 は 故故 憶 な 切 違 罰 増 び 法 ま \mathcal{O} 仏 が で は に う < な 反 \wedge 飲 年 え 方 名 事 新 た の لح 酒 末 る 々が が 月 改 正 た 8 気 認 な 運 年 も も 付 多 加 は \cup さ 害 持 知 つ 始 < 61 つ 転 \mathcal{O} 忙 61 IB \wedge そ 千 ط ち ط て れ 者 • に の した 僧 暦 \mathcal{O} \mathcal{O} 葉 て も 判 言 き \mathcal{O} 多 < كے 侶 \mathcal{O} 業 大 え て 罰 つ 言 安 事 県 韦 断 61 な が 別 に、 全 故 務 危 き お 則 る Л ま の わ 走 • \mathcal{O} < を ф 街 険 操 す 0 は が 時 1 9 運 読 な 作 転 き \mathcal{O} 市 な ま 期 て み 交 運 9 す つ 飮 て 飲 道 飲 て 11 る 方 通 発 自 酒 が 交 ま 理 か 洒 転 が 酒 あ \subset て 事 者 分 法 す لح け 運 生 適 運 運 り \mathcal{O} 故 まが を に 状 依 が 転 \cup の 切 転 の 転 師 す 置 しに た 態 運 に は 然 改 多 に が 走 ょ لح ょ 年 < て 児 لے 転 行 正 しし 挙 1) る ط لے 事 童 な 技 え 運 \cup \mathcal{O} そ 末 げ な 中 交 言 本 起 五 0 術 転 て \mathcal{O} は 5 \mathcal{O} 所 年 き 人 ま を < を 無 C 通 ょ こ わ 12 す < う لح で 度た 死 過 な す 事 私 れ ま る 信 C は ょ 最 傷 る な ょ 故 なた す だ 上 り ち そ り 悪 交 5 時 年 ま だ て け で な 重 期 \mathcal{O} て 特 ഗ 末

> を 度

> > も が チ

所 ル \cup

n ル る ょ う に な り ま に た

1

ル

検

知

器

ょ

る

ア

ル

١

ル

チ

エ

ツ

ク

が

義

務

付

け

5

あ < を に \Diamond ょ あ 安 行 う る 3 ア め 対 \mathcal{O} ょ ア ル 3 う \Box 策 家 ル \mathcal{O} で に ١ 家 は な 安 1 ル も 全 以 り ル チ 例 対 前 ま チ I 外 策 エ ツ で か U 委 5 た ツ 力 は 交が ク 1 な

事 以 お 会 通 外 り 故 全 防 に 61 ア う 止 も \mathcal{O} ル 委 た 交 員 を 会 め 通 1 安 ル て 多 全 チ 行 < エ な \mathcal{O} 交 ツ つ 話通 ク て

合 行 う 検 エ 61 \subset 各 ツ も 討 لے を 々 ク 妏 が 重 ょ \mathcal{O} 策 て ね り 件 き ょ に 改 7 現 関 善 61 お在 検 を 0 查 abla行 ま 方 も つ す つ 法 7 か ゃ 勤 き り 手 務 ま ۲ 順 状 U を 況 た ア 構 ル \mathcal{O} 異 \Box 築 今 て な 1 ル き つ \mathcal{O} る チ た ア ょ I 全 ル ツ う 事 ク 何 業

す 交 世 通 ഗ ф み 事 故 を な さ は 指 h て そ ま 1 安 に 全 関 ょ う 運 わ つ 転 た を 全 小小 が て け \mathcal{O} 人 て が 交 被 通 害 者 事 故 لے な ゼ

> り

 \mathcal{O} ま



アルコールチェッカー

コ 口 ナ を 吹き飛 ゆみの家祭実行 ばそう! 委員 2 0 2 2 年 あ ゆみ 雄 太

祭

とがなにもないよ。』との声を多く聞きました。このままでは長く続 祭を行っています。新型コロナウィルスの影響で、大勢の人が集ま いたあゆみの家祭が忘れられてしまう! んなお祭りがあったことも知らないよ。』『コロナのせいで楽しいこ って開催することが難しい状況が続くことになってしまいました。 あゆみの家の大きな行事のひとつとして、毎年十月にあゆみの家 外でワイワイした雰囲気で過ごしたことを忘れてしまった。』『そ 今年度の準備をさせていただきました。 そんな危機感を覚えな

デイセンターからも利用者実行委員の方を選出し、四つの事業所に の方が中心となって内容を決めていましたが、ぐっどらんど、 ました。例年、デイセンターあゆみの家と第二あゆみの家の利用者 はいけない!利用者実行委員を各事業所から募集することになり なりました。 することが決定し、実施する内容も各事業にて検討していくことに 中止していく話もありましたが、各事業所にてあゆみの家祭を開催 全国各地で観光地域が久しぶりに賑わっていた為、小規模だけでも いを行いました。話し合いをした五月にGW明けだったこともあり て話し合うことになりました。しかし、集まって話をするわけには かし、その後の感染者の爆発的な増加を受け、あゆみの家祭自体を 集まって、時間を共有することはできないか検討していました。し いかず、皆さんの意見を個別に聞いていると時間がかかってしまう まず、今年の開催をどのような形にしていくか実行委員で話し合 ビデオ通話をしながら利用者実行委員会を開き、 しかし、利用者主体のあゆみの家祭を忘れてしまって 意見交流を

> ていきました。 委員で決定したことを中心に、 いて、あゆみの家祭の意気込みなどを語っていました。利用者実行 慣れた様子で話をされ、 面から伝わってきていました。 行いました。最初は慣れないビデオ通話に、緊張していた様子が画 模擬店のメニュー決めや、 各事業所で検討しながら準備を進め しかし、回数を重ねることで皆さん 事業所発表につ

ってフィナーレとなりました。 ました。最後にはそれぞれの事業所で「丘の上のあゆみの家」 の動画を見て楽しまれ、模擬店のメニューを美味しく食べられて あゆみの家祭当日、各事業所にてゲームやカラオケ、 事業所発表 を歌

長く続いていくことができるようにしたいと思います。 用者の方々が楽しむことが出来る行事を共に作りあげ、 あゆみの家祭です。先は見えない状況の中ですが、そんな中でも利 全事業所の利用者の方と職員が、一致団結することができるの 来年こそは…皆で集まって開催ができますように! これからも















最近のできごと (8/1~10/31)

- 8/6(土) 夏祭り(第二あゆみの家)
- 8/15 (月) お楽しみ食事会 (きずな 2006)
- 8/25 (木) ワンピースGドライブ・ひまわり畑 (林町デイセンター)
- 9/13 (火) ワンピース G 肝試し (林町デイセンター)
- 9/26 (月) なのはな・やなぎGおやつ作り (第二あゆみの家)
- 9/27 (火) 元気 ing Gクリーン活動 (林町デイセンター)
- 9/29 (木) ふじG喫茶外出 (第二あゆみの家)
- 10/1(土) あゆみの家祭 (各事業所)
- 10/12 (水) やなぎG喫茶外出 (第二あゆみの家)
- 10/14(金) ホープG喫茶外出 (ぐっとらんど)
- 10/15(土) 土曜活動日ハロウィン(第二あゆみの家) いもほり (デイセンターあゆみの家) ハロウィンパーティー(林町デイセンター)
- 10/18 (火) ワンピース G テイクアウト外出 (林町ディセンター)
- 10/20(木) ポプラG喫茶外出 (第二あゆみの家)
- 10/21 (金) グッティG喫茶外出 (ぐっとらんど) ドリームG喫茶外出 (ぐっとらんど)
- 10/27(木) ワンピースGテイクアウト喫茶 ポップコーンG個別外出(林町デイセンター) ふじG一日外出 (第二あゆみの家)
- 10/31(月) ハロウィンゲーム(デイセンターあゆみの家)

ぐっどらんど福祉避難所締結式 9/1

大垣市と生活介護事業所「ぐっどらんど」が非常 災害時における施設への要配慮者受入れに関する 覚書を締結しました。





行事予定

12/17(土) クリスマス祝会

ふれあい交流、ボランティア $(8/1\sim10/31)$

新型コロナウイルス感染防止対策のため、しばらく の間、受け入れを停止させていただいております。

編集後記

心を亡くすと書いて忙しいと言います。年末が近づきそんな時期になってきました。何かに追われていた り、何かに捕らわれていると、自分の身動きが取れないことがあります。そして周りに眼を配ることが疎か になりやすいのです。

でも実際は自分が考えているほど大変なことではないかもしれません。大切な心を落とさないように、ゆ っくり呼吸をして空を見上げたいと思います。(神崎愛子)

編集:社会福祉法人あゆみの家

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原2066-2

Tel 0584-22-4333 代 FAX0584-22-4344

URL https://ayumi-ie.com/

E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp



グループホームのご案内

●あゆみホーム

●めぐみホーム

●東神田ホーム

●別庄ホーム

●養老公園ホーム

大垣市三塚町 ●綾野ホーム

不破郡垂井町表佐

不破郡垂井町東神田

養老郡養老町橋爪

養老郡養老町養老

●表佐ホーム

●習南ホーム

●あいかわホーム

大垣市綾野町

不破郡垂井町表佐

不破郡垂井町表佐

不破郡垂井町